

今春、鹿児島県の大学を卒業し、母校の南富良野高カヌー部コーチに就いた。6月、全国高校総体(インターハイ)予選の全道大会でカヤック500級全6種目を制覇。同校のインターハイ出場を18年連続に伸ばし「この1、2カ月で技術、体力がさらについてきた」と手応えを語る。

滝川出身。小学生で競技を始め、高校3年時に国民体育大会(国体)で8位入賞。強豪の鹿屋体育大(鹿児島)に進学し、4年時の全日本学生選手権大会(インカレ)では2位や3位の実績を残した。

「大学卒業後もカヌーに携わりたい」。そんな漠然とした思いを抱いていた昨春、上川管内南富良野町の鈴木誠教育長らから、コーチ就任を打診された。公立高の教員は異動が不可避。継続して専門性の高い指導ができるコーチを探していた。「わざわざ鹿児島まで来ていただいた熱心さが決め手でした」。今春町職員として採用され、第二の故郷でカヌーに携わると決め

全国常連の南富良野高カヌー部コーチに

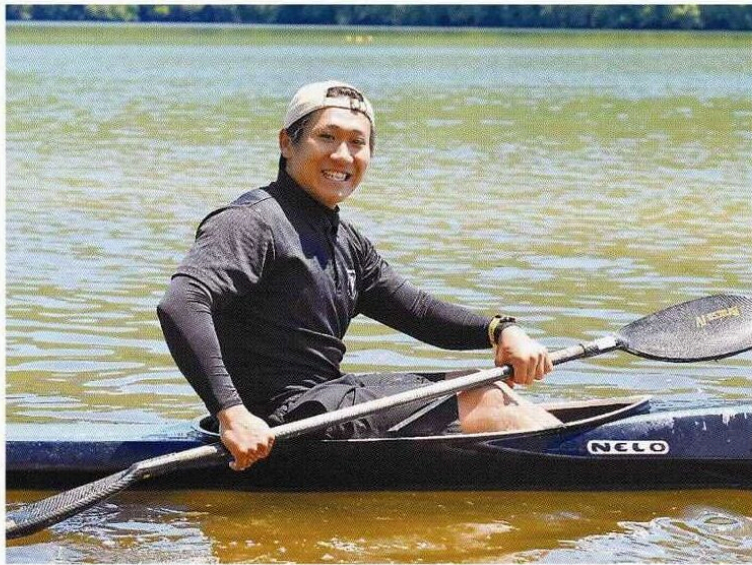
あべひろと
阿部 弘豊さん

た。

現在は週に5回、かなやま湖での水上練習や室内トレーニングを指導。部員20人と一緒に練習に取り組み「まだまだ負けられない」と屈託のない笑顔を見せる。

7月に苫小牧市で開かれる国民スポーツ大会(旧国体)の道予選には、選手としても出場する予定だ。「練習で全力を出せる人が本番もやりきる」。学生時代の教訓を胸に、生徒たちにもその姿を見せ続けるつもりだ。22歳。

(千葉佳奈)



ひと 2024